

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-78

学校名・団体名	亀岡市立千代川小学校
HPアドレス	http://www.el.city.kameoka.kyoto.jp/chiyokawa/
コース	学校支援
活動・研究テーマ	「ともに学び、郷土を愛し、 未来を創る児童の育成」 ～地域教材を活かし、協働的な学びの質を高める 授業づくりとそれを支える単元構想表の研究～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none">・地域教材を活かした協働的な学びを通しての 思考力・判断力・表現力の育成・ふるさとのよさに気付き、郷土を愛し、 これからのよりよい社会について考え、 他者とつながりながら主体的に生きようとする 児童の育成	

<活動・研究報告>

1 主な研究活動

実施時期	研究内容、研究方法、成果の公開等
4月2日(木)	校区フィールドワーク(古墳・丹波国府跡等)※写真1
4月中旬	研究方針・研究計画の立案 研究推進体制の確立 学力診断テスト
5月初旬	児童学習アンケートの実施(第1回)
5月19日(火)	学力向上システム開発校連絡協議会
6月12日(水)	全体授業研究会①3年生(社会科「わたしたちのまち みんなのまち」)
7月22日(水)	(研修)学力分析
7月28日(火)	(研修)理論を学ぼう 「社会的な見方や考え方を成長させる教材開発・単元構想・学習展開の工夫」 講師 京都市立岩倉北小学校 教諭 牧 紀彦 先生
7月29日(水)	(研修)戦争体験者の方から、お話を聞こう 「満蒙開拓団に参加して」 黒田 雅夫 様 (亀岡市西つつじヶ丘在住)
8月下旬	学力向上システム開発(単元構想表の研究及び作成)
10月15日(木)	全体授業研究会②5年生(社会科「これからの食料生産とわたしたち」)
10月18日(日)	放送大学 教授 中川 一史 先生様より授業についてのご講話
10月18日(日)	ちゅうでん教育振興財団助成金伝達式参加
11月12日(木)	府・局・市指導主事来校 全体授業研究会③1年生(生活科「ひろがれえがお」)
12月初旬	児童学習アンケートの実施(第2回) - 3 -
2学期	地域教材資料集「わたしたちのふるさと千代川」作成
1月29日(金)	公開授業研究会 内容(2, 4, 6年生授業公開 全体会 事後研究会)
2月初旬	CRT(学力診断テスト)実施
2月19日(金)	学力向上システム開発校交流会
2月24日(水)	1年次の研究総括
年間を通して	・1人1授業(計画に沿ってブロック研究授業) ・研究推進部会(月1回) ・ブロック部会(月1回)



4月の春休み、校区山裾に広がる古墳群を職員研修としてフィールドワーク。

夏季研修:教材研究「戦争体験」満州から孤児となったの引き揚げ体験を聞く。…後日。6年生が歴史学習で同様にお話を聞く。



2 今年度の研究の成果と検証

(1) 地域教材を活かし、協働的な学びの質を高める授業づくりとそれを支える単元構想表の研究

単元構想表

千代川小学校社会科 単元構想表 5年1組 OO OO
単元名「わたしたちの生活と森林」1月中旬全10時間 教科書P 82 ~ P 93

【1】単元の目標

わたしたちの生活と森林の関わりを調べ、森林が国土の保全や水資源の豊かに果たしている役割を知り、森林の大切さを知り、森林の大切さを伝えることについて考える。

【4】導入

① 森林の大切さを知り、森林の大切さを伝えることについて考える。

【3】学習問題

② 日本の森林の未来をどうにかしたいか? ③ 森林の大切さを伝えることについて考える。

【5】調べ・追究活動

④ 森林の大切さを伝えることについて考える。

【6】資料

⑤ 森林の大切さを伝えることについて考える。

【2】学習の振り返り

⑥ 森林の大切さを伝えることについて考える。

【7】まとめの表現活動

⑦ 森林の大切さを伝えることについて考える。

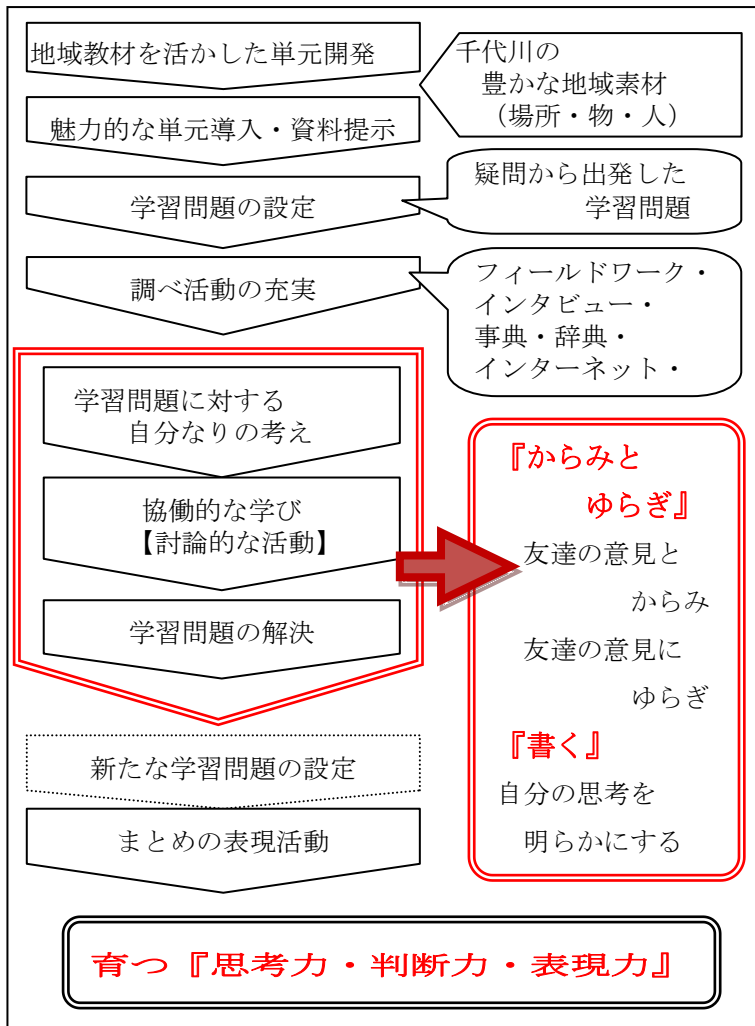
特徴① 単元構想表は【 】の番号順に作成する。そこには、学びの入り口(目標)と出口(単元最終の児童の思考)がはっきりし、授業構想が遡って整理されていくよさがある。常に学習のまとめを意識して学習が進められる。

特徴② このペーパー1枚で単元全体が見通せ、各時間の位置付けやめあてについても明確になる。

研究会 2年生授業風景
調べた千代川町の良さを発表します。



授業づくりの流れ



研究会 4年生授業風景
調べてきた亀岡のお宝を報告



研究会 6年生授業風景
教室をミニ議会にして討論



研究会 事後研究会

(2) 取組の成果

- 身近な人々への関心が高まり、親しみや地域への誇りが持てるようになってきた。
- 社会的なニュースなど、社会的な事象へ目を向ける児童が増えてきた。
- フィールドワークやインタビューをはじめとした調べ学習に意欲的に取り組み、考えを深めて、授業での活発な発言、話し合いにつながった。
- 学習問題について自分の考えを持ち、討論的活動に臨むことで思考が深まった。また、友達の意見のよさに気付くことができるようになった。
- 書く活動を取り入れることにより、自分の考えと比べながら友達の意見に耳を傾けやすくなり、学習を深めたりノートにまとめたりすることへの意欲が高まった。
- 教師の変容として教材研究を意欲的に進め、地域教材を深く掘り起こすことに楽しみを感じるようになっていく。教師自身が学ぶことを楽しみ、この感動を児童にも伝えたいと授業研究を行い、単元構想表に書き込むことを通してめあてを明らかにした授業構築に向かう姿勢が作られてきている。
- 地域においても学校教育に積極的に参加していただける教育的風土がさらに広がってきている。子ども達に話すことや共に体験することを楽しみに、笑顔で来校していただいている。

(3) 今年度の課題

- ・児童自らが問題意識を持ち、学習問題を自分（児童）発にできるように授業改善を図る。
- ・学習意欲を高めるための資料の精選、授業での有効な活用方法を創意工夫する。
- ・学習問題の解決に向けて、何を話しても受け止めてもらえる学習集団の形成と話し合いのスキル向上を進め、討論的活動を深める。
- ・要点をまとめたり、学習内容を的確な方法で発信したりするために、「書く力」を育成する。
- ・各教科、家庭学習、特別活動等、全ての教育活動を通して、討論的活動を支える言葉の力を育成する。